

日本生体医工学会 平成21年度 第2回理事会 議事録

日時： 平成21年7月31日 14時～17時

場所： 学士会館本館302号室

出席者

会長	副会長	理事													監事	幹事	支部													
楠岡 英雄	安藤 謙二	福井 康裕	生田 幸士	石原 謙	伊関 洋	小笠原 康夫	佐久間 一郎	佐藤 正明	砂川 賢二	土肥 健純	橋爪 誠	林 紘三郎	堀 正二	牧川 方昭	湊 小太郎	山家 智之	山越 憲一	菊池 眞	山口 隆美	植野 彰規	松村 泰志	河原 剛一	伊東 一典	田村 俊世	岩田 彰	千原 國宏	梶谷 文彦	廣川 俊二	千田 彰一	徳山 久美子
○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○

配布資料

- 21-2-2 平成21年度第1回理事会議事録(案)
- 21-2-3-① 平成20年度第5回理事会入退会審査対象者
- 21-2-3-② 退会届(維持会員)
- 21-2-3-③ 過去10年間の会員数・会費の推移
- 21-2-4-① 定款WGメモ
- 21-2-4-② 会員登録情報の再調査について
- 21-2-5 広報委員会委員案
- 21-2-6-① 国際委員会委員案
- 21-2-6-② 2nd IFMBE WGAPA Traveling Fellowship 準備状況
- 21-2-7-① ME技術教育委員会(案)
- 21-2-7-② 第15回第1種ME技術実力検定試験結果報告
- 21-2-8 ME研究推進委員会委員案
- 21-2-9 クリニカルエンジニアリング委員会委員案
- 21-2-10 医用研設立準備委員会委員案
- 21-2-11-① 教育委員会委員案
- 21-2-11-② 第7回生体医工学サマースクール実施要項
- 21-2-12-① 生体医工学誌編集委員会
- 21-2-12-② Journal@rchiveについて
- 21-2-12-③ 第2回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第2回シンポジウム
- 21-2-13 平成21年度選奨各賞選定委員長
- 21-2-14 医療技術開発推進委員会委員
- 21-2-15 選挙管理委員案承認および選挙日程の件
- 21-2-16 日本生体医工学会旅費規程について

21-2-17 日本医工ものづくりコモンズ（仮称）の設立の趣意書（案）

21-2-19 日本生体医工学会第 49 回学術集会 概要（案）

21-2-20-① 生体医工学会 2009 年度 課題

21-2-20-② 学会支援機構の引越しに伴う住所変更について

議事

1. 理事会成立の件（総務 湊）

定款に定める要件を満たしている（理事出席 14 名 委任状 2 通 計 16 名／18 名）ことを確認して理事会成立を宣言した。

2. 前回議事録承認の件（審 総務 湊 資料 21-2-2）

前回議事録について修正等があれば事務局に連絡することとした。

3. 入退会（審・回覧 会員 資料 21-2-3-①②③）

入会：正会員 18 名 準会員 6 名

退会：正会員 32 名 準会員 5 名 維持会員 1 名（経費節減のため）

全入退会、資格変更が承認された。

この結果、現況は正会員（国内）2317 名、正会員（海外）42 名、準会員（国内）378 名、準会員（海外）0 名、維持会員 16 社 24 口 顧問 3 名、名誉会員 56 名となることを確認した。

4-①. 定款 WG の設立（審 総務 湊 資料 21-2-4-①）

- 総会で一般社団法人への移行が認められた。一般社団法人化に際して必要な定款の変更に関する WG を設立する。
- WG のメンバーは理事の会務担当指定で構成する。
会長：楠岡英雄、副会長：安藤譲二、福井康裕、総務：伊関洋、湊小太郎、規約：石原謙、山越憲一の 7 人とする
- 11 月までに案を作成し次回の理事会で審議する。来年 3 月の理事会で確定し、6 月の次回の総会で承認を得るスケジュールとする。
- 来年の代議員選挙は新しい定款に基づく。
- 名簿を再整備する必要がある、
- 本 WG の設立、ならびにメンバーについて承認された。

4-②. 会員登録情報の再調査について（審 総務 湊 資料 21-2-4-②）

- 一般社団法人化に向けての準備として名簿調査が必要。
- M と E の区別を明確にする必要がある。現在は自主報告に基づいており、基準があいまいになっている。医療系国家資格の有無を問う。
- 国家資格のみ問うのか、学会認定のものはどうするのかを決める必要がある。
- 次回の代議員選挙で M 系 E 系の枠を決めるのか。会員数の比率に合わせて代議員の比率を決めるとの考え方がある。
- 医学物理士の扱いをどうするか等悩ましい部分がある。
- 調査後の判断が重要であるが、医療系国家資格や広く認められている学会認定資格について調査する。
- 具体的にどの資格を調査対象にするかについては、意見を聞いて調整する。

- Web で調査する。
- ID、パスワードを入力する必要であるが、パスワードを忘れていた会員が多いと思われる。郵送で依頼し、ID、パスワードを通知する方法が考えられる。
- パスワードを生年月日としてとりあえず登録し、直ぐに変更するなどの案が考えられる。しかし、一端全てのパスワードを書きかえることになるのが問題。
- 現状ではリマインダー機能があるが、メールアドレスが古いままとなっており、連絡がつかないことがある。
- これらを踏まえて、調査方法について WG で検討する。

5. 広報委員会委員案承認の件（報・審 広報 山越 資料 21-2-5）

8名を広報委員会委員とすることが呈示され、承認された。

6-①. 国際委員会委員案承認の件（報・審 国際 佐久間 資料 21-2-6-①）

従来の委員に、数名が追加された。案通りに承認された。

6-②. 2nd IFMBE WGAPA Traveling Fellowship について（報・審 国際 佐久間 資料 21-2-6-②）

- 金沢大学大学院理工学研究域助教の野川雅道先生が応募され、参加していただくことに決定した。
- 応募が少なかったのは、IEEE EMBS との時期の重なりが原因していた可能性がある。
- 費用（野川先生の航空運賃、一行の日本滞在費、レセプションの費用）を負担する必要がある。
- 日本側の受け入れ企画を調整中。8月31日の夜にレセプションを実施する。
- 本 Traveling Fellowship は、アジアの親睦を深めることを目的としている。
- 次回は開催時期について配慮される予定。
- 今後（3年後北京）について、積み立てをどうするか等検討が必要。

7-①. ME 技術教育委員会（報・審 ME 技術教育 石原 資料 21-2-7-①）

ME 技術教育委員会委員について承認された。

7-②. 第 15 回第 1 種 ME 技術実力検定試験結果報告（報・審 ME 技術教育 石原 資料 21-2-7-②）

- 455名の応募者。100名が合格者。内82名が今回の試験のみで合格
- 合格者について承認された。
- 更新制について以下の議論がされた。

- 1種、2種には、試験に合格した後の更新制がない。
- ME 認定士については、3学会（医療機器学会、日本生体医工学会、医療機器センター）が共同して更新制を導入している。
- 学会がやっている認定は、更新制を導入するのが原則である。
- 臨床工学技士は、学会に参加する人が少ない。臨床工学技士を含む2種の取得者は、平日に勤務を休んで学会への出席が難しい実情がある。
- 更新制があれば、むしろ病院側がサポートすることになる。日曜日に教育セミナーを開いて点数を与えるなどの努力が必要。
- 医療機器安全管理者のための講習会なども含めた方向を検討する必要がある。
- 第1種の資格者が学会員になるような環境を作るところから始める必要があるのではないか。
- 更新制について、委員会で検討していただく。

8. ME 研究推進委員会委員案（報・審 ME 技術教育 石原 資料 21-2-8）

- ME 研究推進委員会委員について承認された。
- 委員会の目的を明確にして進める必要がある。

9. クリニカルエンジニアリング委員会委員案（報・審 CE 石原 資料 21-2-9）

- クリニカルエンジニアリング委員会委員について承認された。
- 講習会等についてアクティブに活動している。
- 生体医工学会の中のクリニカルエンジニアリング委員会はリエゾン領域となるので調整が必要。講習会について答申案を出していただく。
- 合同委員会の議題として、認定の更新制について検討していただく。

10. 医用研設立準備委員会委員案（報・審 医用研 佐久間 資料 21-2-10）

- 医用研設立準備委員会委員について承認された。
- 医用研設立準備委員会の在り方について、以下の議論がされた。
 - 委員会の名称を含め検討する必要がある。
 - 学術会議とのリエゾンを担当する。
 - 内閣府の総合科学技術会議、健康産業推進、学術推進を考えた時に、常時シンクタンクとして機能していたら、政府からヒアリングがくるのではないかと。これからやるべき戦略を立てて準備しておくという機能持たせてはどうか。

11-①. 教育委員会委員案（報・審 教育 牧川 資料 21-2-11-①）

- 教育委員会委員案について承認された。

11-②. 第7回生体医工学サマースクール実施要項（報・審 教育 牧川 資料 21-2-11-②）

- 「医用光学の基礎、およびロジカルシンキングから特許明細書」をテーマに。2009年8月10日午後～12日午前まで、光産業創成大学院大学にて開催する予定。
- 江田英雄先生に世話役をお願いしている。
- 参加希望者は集まりつつある。

11-③. ME教科書シリーズ進捗状況（報・審 教育 牧川）

- ME教科書シリーズの進捗状況について報告された。
- 21冊が発行済み

12-①. 生体医工学誌編集委員会（報・審 教育 佐藤 資料 21-2-12-①）

- 生体医工学誌編集委員会委員案について承認された。

12-②. Journal@rchiveについて（報・審 教育 佐藤 資料 21-2-12-②）

- JSTで初刊から電子化する予定
- JSTからの判断結果待ち

12-③. 第2回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第2回シンポジウム（報・審 教育 佐藤 資料 21-2-12-③）

- 第2回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第2回シンポジウムが開催された。
- 本シンポジウムにて、研究者倫理、多重出版について議論された。
- 定款で処分規定がないので、編集委員会で議論する必要がある。
- 学会として著作権のありかたについて
 - 著作権は、学会が持っている。
 - 文化社会系の学会では、学会に著作権がない。

13. 平成21年度選奨各賞選定委員長（報・審 選奨 橋爪 資料 21-2-13）

- 各選奨委員長について承認された。
- 選奨のスケジュールについて検討する必要がある。
- 科学新聞賞・研究奨励賞・阪本刊行助成賞・阿部賞など、賞の名称も検討いただきたい。

14. 医療技術開発推進委員会委員（報・審 医療技術開発 菊池 資料 21-2-14）

- 医療技術開発推進委員会委員案について承認された。
- 学術の意味と産業化を目的としている。
- 産業界の方に生体医工学会にどのように参加していただくかが1つのテーマ。

15. 選挙管理委員案承認および選挙日程の件（報・審 選挙管理委員 小笠原 資料 21-2-15）
- 選挙管理委員会の委員案が承認された。
 - 今年度は、理事の改選のみ
 - 選挙実施スケジュール案が承認された。
16. 日本生体医工学会旅費規程について（報・審 規約 石原・山崎 資料 21-2-16）
- 旅費規程については統一するべき。透明性の確保は重要。
 - 国の処理に準じると、処理が大変であり、事務作業が大変である。これらを勘案して、新たな旅費規程を設定する方針としたい。
 - 技術教育委員会では、日当を 5000 円としているが、本会では 0 円。これを統一する方向で検討。
 - 技術教育委員会では作業を伴うので、問題作成に対して謝金を支払う方針としたい。
 - 理事会でも日当を出してはどうか。
 - 理事会では日当は他の学会では支払われていないので、それに甘んじるべきではないか。
 - 主たる交通費以外の交通費を日当で支給する場合がある。
 - 自己申告としている学会がある。しかし、生体医工学会では事務の負担を避けたい。
 - 継続して検討を進める。
17. 日本医工ものづくりコモンズ（仮称）の設立の趣意書（案）（報 土肥 資料 21-2-17）
- 日本の医療機器開発を力づけることを目的にコモンズが結成された。
 - 関連する学会が協力することは重要であり、是非推進するべきであり、生体医工学会も参加すべきである。
 - 生体医工学会も参加することについて承認された。
18. 日本生体医工学会第 48 回学術集会（報・審 第 48 回大会 福井）
- 成功裏に終わった。
 - 1000 人以上の参加者があった。
 - 収支は赤字にならなかった。
 - 非会員に講演していただく場合の謝金、交通費の扱いについて意識が統一されていなかった。大会で呼んだ人については、大会から支払う。専門別研究会で人を呼んだ場合、専門別研究会で支払う方針とした。以後、統一的に扱うようお願いしたい。
 - 専門別研究会の委員が正会員になっていない場合があり問題がある。

19. 日本生体医工学会第 49 回学術集会 概要 (案) (報・審 第 49 回大会 千田 資料 21-2-19)

- 2010 年 6 月 25 日～27 日に千田先生を大会長として大阪国際交流センターで開催
- 2009 年 12 月 23 日から 2010 年 2 月 3 日までに一般演題募集する。
- ミート・ザ・パイオニア：日本での成功者と若手研究者との対話を行う。
- 専門別研究会によるオーガナイズドセッションのやり方を変える。
- 高校生科学コンテストは継続して行う。
- **English** セッションの開催を検討する。
- モーニングレクチャー：基礎的なことを知らない人が多い状況があるので、通してレクチャーを行う。
 - 第 1 回の未来デザインコンテストをお願いしたい。(生田)
 - アジア近隣・若手を招待する制度として作ってはどうか。(石原)
 - ◇ 今回は、時間的に間に合うのか心配。具体的なやり方を詰めておく必要がある。(楠岡)
 - ◇ 学会における教育を重視したい。(千田)
 - ◇ 2013 年の **IEEE-MBE** を念頭にアジアからの参加を増やす必要があるので、やってはどうか。(田村)
 - ◇ 参加費免除だけでも良いかもしれない。(楠岡)
 - ◇ **English** セッションは、**IEEE-MBE** のためにも是非やって欲しい。(牧川)

20-①. 2009 年度の課題とスケジュールについて (資料 21-2-20-①)

- 2012 の大会長の選出を次回の理事会に決める必要がある。
- 定款改定
- 支部・専門別研究会の会計基準の適用
- 大会関係
 - 科学新聞賞の復活
 - **NEDO** セッションの取扱い
 - 臨床工学技士会との関係
- 専門別研究会 在り方、設立・継続の審査基準
- 国際委員会 **IFMBE** 理事に佐久間先生に立候補いただいた
- 編集委員会 国際誌の創刊を当面見送る
- 教育委員会 教科書発行の完結
- **ME** 技術教育委員会 試験、講習の継続
- **CE** 委員会
- 生体医工学研究所設立準備委員会
 - 発展的解消を図るのか、名称の変更をするのかなど

- 広報委員会 HP の更新
- ME 研究推進委員会 目的の明確化
- 医療技術開発推進委員会
 - 産業界 行政との窓口 METIS との対応
- 選奨委員会 スケジュールの見直し
- 選挙管理委員会 選挙スケジュールを見直していただいた
- 旅費謝金規程の整理
- 健康保険制度への対応 健保連への加盟
 - CE へのインセンティブがあった方が良い
 - 医療安全の機器の管理に加点するなど
 - 新しい機器の保険適応をプッシュする役割が重要
- 理事会スケジュールの確認
- 生体医工学シンポジウム
 - 参加者 170 件、論文投稿 105 件
 - 9 月 18 日、19 日に開催予定
- 大会長選出
- 会員の整理
- 名簿の作成
- 教科書の PR
- 名誉会員・顧問制度の見直し
- 会長選出 選挙規程の見直し
- 会員が減じている。深刻な問題であり、対策を採るべきである。
 - 大学で生体医工学の講座を作っても、認知度が低いように感じる。一般的大学にも啓蒙活動が必要。
 - 高校生に対してのアピールも検討して欲しい。

20-②. 事務局の住所変更について（資料 21-2-20-②）

- 事務委託先の学会支援機構の移転に伴い、定款の変更点につき、以下の報告がなされ全会一致で承認された。

<変更点>第 1 章 総 則 第 2 条 【事務局住所変更（東京都新宿区改代町 26-1→東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F）

20-③. 協賛等の状況

- 資料を回覧し承認された。